

ぐんだらけ 引田ひなまつりアート・プロジェクト2026 公募要項

香川県東かがわ市の引田地区で住民主導により2003年から続く、引田ひなまつりに合わせたアートプロジェクト参加作品を公募します。引田では今年度より東京藝大と香川大による共同拠点「ぐんだら家」が整備され、地域住民との共創プロジェクトが実施されています。昨年度の引田ひな祭りにおける共創企画に続き、本年度は東京藝大・香川大両大学の学生から企画を公募することになりました。

応募フォームはこちら

(関連事業)

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)

SIOME 東京藝術大学×香川大学 せとうちART & SCIENCE: <https://setouchi.ac/>

【オンライン説明会】

日時: 2025年11月12日(水) 12:00~13:00

Google Meet!リンク: <https://meet.google.com/gsw-nueg-qfw>

※アーカイブ視聴可

【ぐんだらけについて】

公式ホームページはこちら

ぐんだらけとは、多様な主体が対話し、地域課題と向き合う場をひらく、地域実装型まちづくりプロジェクトです。

2024年度より、東京藝術大学と香川大学の連携により、東かがわ市を舞台に始動したまちづくりプロジェクトです。歴史ある港町・引田に拠点「ぐんだら家」を構え、アーティスト、研究者、学生、地域住民など多様な人々が交わり、それぞれの立場から主体的にまちづくりに関わる場を生み出していく。プロジェクト名の由来となった、引田の方言「ぐんだら(=だらだらとおしゃべりすること)」をキーワードに、アートや科学を切り口とした多様な対話を通じて、地域社会の課題とその向き合い方をともに考え、実践していきます。

【別紙】

こちらからご確認ください

(内容)

- プロジェクト内容
- 過去の作品やプロジェクト事例
- 活動エリア(地域の特色と引田ひなまつり)について
- 想定する展示会場について

【募集対象】

東京藝術大学又は香川大学の学生のうち下記の条件を満たす者

- 2026年1月10日(土)の「ぐんだらミーツ」に現地参加できること
- 2026年2~3月の期間に**5日間以上の現地滞在(制作・展示)**が可能であること
- 研究室、ゼミ又は公認サークルによる応募の場合、担当教員の許可を得ていること(東京藝大の学生の場合、指導教員又は担任教員の許可を得ていること。)
- 選出された場合、制作過程・作品の記録データを研究・広報目的で使用(論文・記録集等掲載含む)することを許諾できること

【募集規定】

- ・応募作品の所有権及び著作権は、応募者本人に帰属します。
- ・著作権が応募者本人以外に帰属している作品は応募不可とし、明らかに著作権や肖像権などを侵害しているものは、審査対象から外します。
- ・作品に写真や映像を用いる際、その中に人物が映り込む場合は、応募者がその方の同意を得るものとします。
- ・作品の応募・制作・展示に際して、第三者の権利侵害があった場合は、東京藝術大学・香川大学では一切の責任を負わず、応募者の責任によって解決していただきます。
- ・選出された場合、応募作品の画像、映像等を広告宣伝・研究等に利用する(必要最小限の範囲で画像等を加工、修正することを含む)ことを無償で許諾していただきます。

【募集内容】

「引田ひなまつり」をテーマとした作品制作および展示／発表
分野不問(現代美術／工芸／デザイン／建築／パフォーマンス／演奏 等)
(形式はA.Bの中から選択)

選出:2組

A.雛壇展示形式

- 提示された展示会場のいずれかを想定した展示プラン(別紙参照)
 - 展示会場1 松本家 車庫
 - 展示会場2 初代YAGI美容院

※展示会場は変更する可能性があります
- 素材・技法は自由
- ただし、現状復帰できることを条件とする(復旧できない内容の展示を希望する場合は事前に家主と相談すること)

B.ぐんだら家でのパフォーマンス形式

- 拠点「ぐんだら家」を使用したパフォーマンスやイベント形式(別紙参照)

【制作環境・支援】

(制作支援費)

選出された場合の支援上限額は下記の通りです。

- 藝大生:1組上限20万円(交通費・宿泊費・制作費含めて)
- 香川大生:1組上限15万円(交通費・宿泊費・制作費含めて)

※グループでの応募は可能であるが、上限額の変更はなし

(制作環境)

- 拠点「ぐんだら家」を制作スタジオとして利用可
- 無料宿泊施設あり(数名まで、詳細は選出後案内)
- 香川大学工房や基本工具貸出可(要相談)
- 展示設営の技術補助あり(要相談)

【スケジュール】

公募期間:2025年11月6日(木)17:00～12月14日(日)23:59

11/6(木)	公募開始・情報公開
11/12(水)	オンライン説明会(アーカイブあり)
12/14(日)	応募締切(23:59必着)
12/16(火)	審査(書類)
12/17(水)	結果発表(メール通知)
12/17(水)～24(水)	オリエンテーション(オンライン予定)
12/22(月)～26(金)	リサーチ (現地またはオンライン／別途1名分の交通費支給)
1/10(土)	「ぐんだらミーツ」:地域住民との顔合わせ会
2月～3月	滞在制作(任意の5日以上)
2/28(土)～3/4(水)	展示・発表(パフォーマンスは土日中心)

※12月リサーチ(現地視察)について

12月のリサーチについて、現地参加できる場合は支援費に加えて1名分の交通費を支給します。現地参加が難しい場合は、オンラインでのリサーチを実施します。
(グループの場合は代表者1名分に限り交通費を支給します)

※ぐんだらミーツとは？

地域の皆さんに活動内容を共有する場としてのトークイベントです。

瀬戸内国際芸術祭2025への参加アーティストもこの場で制作プランを住民に共有したり、制作協力(素材募集含む)をお願いしたりしました。

地域住民との対話を重視しているプロジェクト方針のもと、挨拶を兼ねて実施します。

[ぐんだらミーツVol.01 アーカイブ](#) [アーカイブ記事はこちら](#)

[ぐんだらミーツVol.02 アーカイブ](#)

【応募方法】

下記の応募フォームに必要事項を入力し、提出物をアップロードしてください。

応募フォームはこちら

①応募者情報<必須>

アーティスト名(グループ名)、本名、所属大学・学科、メールアドレス、電話番号
※グループ応募の場合は上記に加え「グループの代表者名、グループの人数」

②ポートフォリオ(これまでの活動実績)<任意>

PDFデータ(上限10GBまで)

※ページ数制限、フォーマットは特にありません。

※任意提出であるが、できる限りご用意をお願いいたします。

③作品プロポーザル<必須>

指定フォーマットを使用したPDFデータ(上限10GBまで)

フォーマットはこちらからダウンロードしてください

—1ページ目出展：作品プラン、素材、作品タイトル、ステートメント

—2ページ目以降：補足資料

④予算計画書<必須>

指定フォーマットを使用したPDFデータ

フォーマットはこちらからダウンロードしてください。

【重視する点】

公募審査の上で重視する点としては、これまで続く引田ひな祭りの歴史に敬意を持ったうえで新しい視点をもたらす提案であることと、一方的な作品展示にとどまらない双方向性を持った提案であることです。

本プロジェクトが一過性のイベントでの作品展示に終わらず、地域の可能性を掘り起こし、次の出来事のきっかけを生んでいくような提案を期待しています。

【審査員】

宮崎晃吉(東京藝術大学 芸術未来研究場 特任准教授)[紹介ページ](#)

柴田悠基(香川大学 創造工学部 講師)[紹介ページ](#)

【問い合わせ】

不明点や相談があれば、お気軽にお問い合わせください。

三谷なづな(香川大学イノベーションデザイン研究所特命助教)
E-mail: mitani.nazuna@kagawa-u.ac.jp